

- ◆企画名 結構かんたん！コミュカ基本の「シ」
日 程 平成 26 年 6 月 24 日（火）
場 所 総合学生会館凜風館 4 階 ミーティングルーム 2
参加者数 10 名（ピア・サポータ 7 名、一般学生 3 名）
目 的

学生相談室やほっこり相談室の利用者には、大学で友人を作るタイミングを逃した学生もいる。そのような学生を対象とし、コミュニケーションに関する講演会を行う。最終的には、参加者に自分自身のマニュアルを作ってもらい、友達作りの「最初の一歩」を踏み出せるようになるきっかけを提供することを目的とする。

内 容

- ① 講義「コミュカ基本の『キ』『ホ』のおさらい」
(主体的に他者と関わることについての重要性→コミュニケーションのプロセス→他者と相互に存在を認め合うことの重要性→自己紹介の意義)
- ②ワーク
- 『1枚の絵』
(講師の指示に従って各々が絵を描く。人との違いを優劣でなく差異として受け止める練習をする。)
- 『2枚の絵』
(4人1組で2枚の絵を完成させることで、「違い」を埋める精度を高める。)
- 『自分に良いレッテルを貼って自信を育てよう』
(あたたかい言葉をふせんに書いて互いの身体に貼り合うことで、自信を育てる練習をする。)
- ③まとめ ④アンケート記入

効 果

- 企画の形態や内容について
- ・参加者全員と関わるができるワークを実施できた。
 - ・ワークにふせんを用いることで、視覚的な効果を得られたと同時に楽しめた。
 - ・ワークを通して、人を褒めるということに向き合えた。
- 参加者について
- ・3部連続の参加者が数名おり、当初の狙いであるステップアップを達成出来た。
 - ・当日の会話やアンケート結果から、参加者の反応が良く、内容に満足されていたように窺えた。
 - ・更なるステップアップとして、「応用」などの続編講座を希望している参加者が多い。

改 善 点

- 企画の形態について
- ・名前タグを胸にシールで貼っていたため、相手をジロジロと見ている感じがした。
→紙を折って立てる形をとった方が良かった。
 - ・絵を描くワークの際に、完成品を参加者全員で共有する時間があればより良かった。

感 想

3部連続で参加してくださった方が数名おり、企画を実施して良かったと心から感じた。参加者からは、「更なる続編を計画してほしい」「スタッフの方、お疲れ様でした」などのお声をいただき、今後もその様な方々からの期待に応えたいという気持ちが高まった。参加者は少なかったが、だからこそ、親密な空間を作り、良い影響を及ぼせたのではないかと考える。とはいえ、より多くの学生を支援したいという気持ちも強く、やはり早めの準備や広報を徹底していくべきであると痛感した。